

平成28年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（小学校6年）

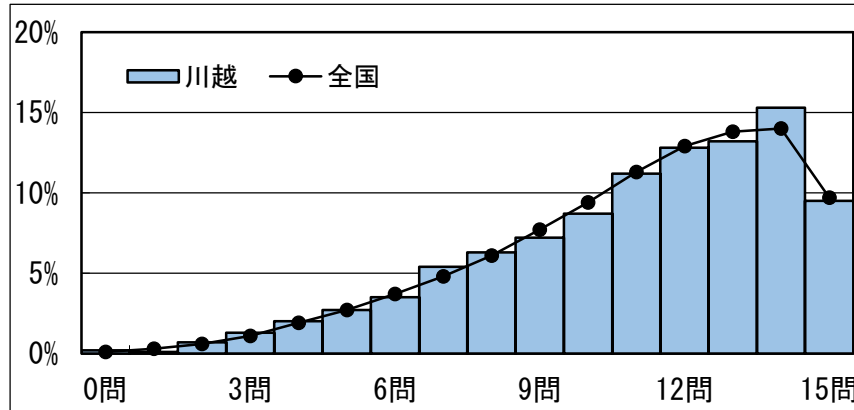
教科に関する調査 小学校：国語

平均正答率 国語A：72.8% 国語B：55.3%

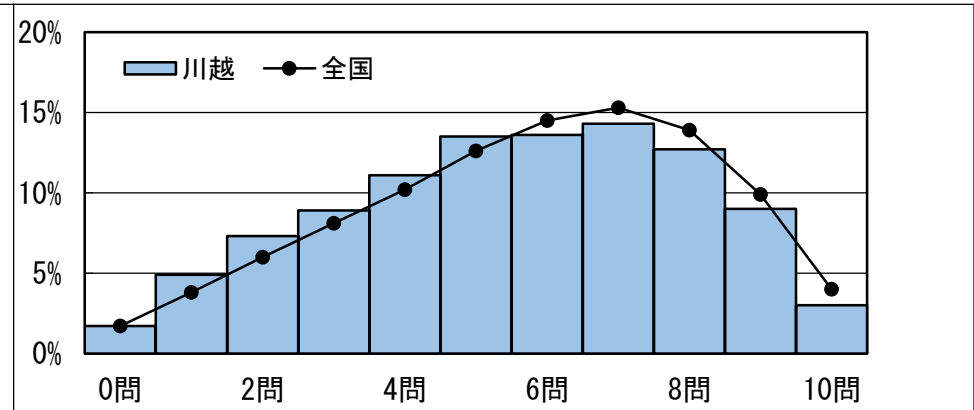
正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合）

【国語A】主として「知識」に関する問題



【国語B】主として「活用」に関する問題



2 国語の調査結果の概要及び指導改善のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】◇今回出題された漢字の読み及び書きについては、相当数の児童ができています。

◆話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題がある。

◆目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むことに課題がある。

【指導改善のポイント】

○事前にインタビューメモを作成するなど、調査等の目的に応じて質問する内容を整理しておくことと、目的に応じて、相手の意図は何か、自分の予想との違いは何か、自分の考えとの共通点や相違点は何かなどを観点として、相手の話を注意深く聞く指導することが大切である。

○「課題を解決するために読む」というように、課題解決の過程に適切に位置付けられた言語活動を行うことが大切です。また、児童が自ら得た複数の情報を関係付けて、自分の考えを明確にしながらか読むことが重要である。その際、読む目的によって本や文章の活用の仕方が変わり、そのため引用したり要約したりする部分も変化するということを実感できるように継続的に指導することが大切である。

平成28年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（小学校6年）

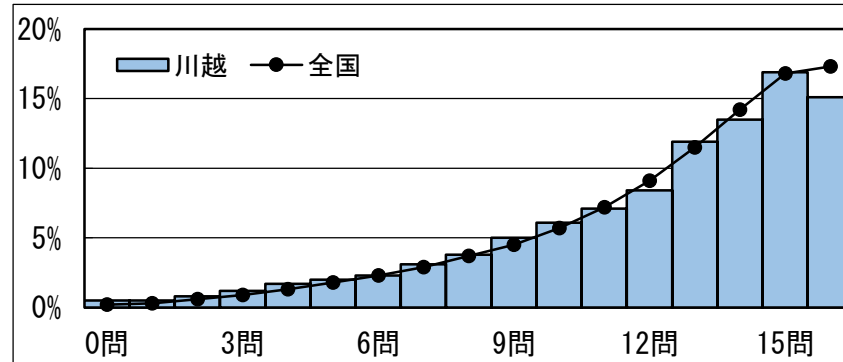
教科に関する調査 小学校：算数

平均正答率 算数A：75.8% 算数B：45.4%

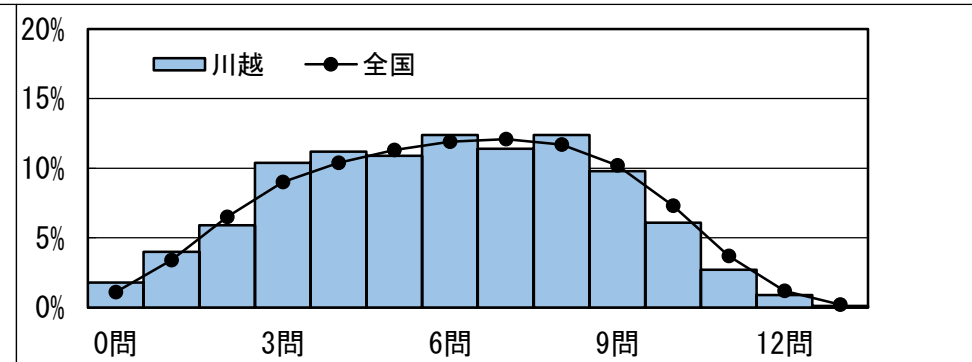
正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合）

【算数A】主として「知識」に関する問題



【算数B】主として「活用」に関する問題



2 算数の調査結果の概要及び指導改善のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】◇整数、小数の計算をすることは相当数の児童ができています。

◇示された条件を基に他の正方形について検討し、同じ決まりが成り立つかを調べることは、相当数の児童ができています。

◆グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に示された事柄が正しくない理由を記述することに課題がある。

◆示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に、式の意味の説明を記述することに課題がある。

◆図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することに課題がある。

【指導改善のポイント】

○問題を解決するために必要な情報は何かを適切に判断し、資料などからその情報を取り出すことができるように指導することが大切である。また、考えた筋道や根拠となる事柄を過不足なく示して説明することができるように指導することが大切である。

○式の意味を図形の構成要素に着目して説明する活動を設け、図形の用語を適切に用いて、説明を式の意味が明確になるように洗練していく指導が大切である。

○図形の構成要素に着目して、構成できる図形を予想したり、構成できた根拠を考え、説明したりすることができるよう指導することが大切である。